

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 19-1

問1)

下記、● 語句穴埋め問題の「固定資産の減損会計に係る会計基準」及び「同適用指針」について、空欄を埋めるとともに、● 正誤問題の (A) ~ (C) の文章について、正しいと思うものには○印を、正しくないと思うものには×印を付し、×印としたものについてはその理由を記述しなさい。さらに、これらを踏まえ、熱海電機㈱の● 事例問題に答えなさい。

● 語句穴埋め問題

「固定資産の減損に係る会計基準」一部抜粋

二 減損損失の認識と測定

2. 減損損失の認識

- (1) 減損の兆候がある資産又は資産グループについての減損損失を認識するかどうかの判定は、資産又は資産グループから得られる (①) の総額と帳簿価額を比較することによって行い、資産又は資産グループから得られる (①) の総額が帳簿価額を (②) 場合には、減損損失を認識する。
- (2) 減損損失を認識するかどうかを判定するために (①) を見積る期間は、資産の (③) 又は資産グループ中の主要な資産の (③) と (④) 年のいずれか短い方とする。

3. 減損損失の測定

減損損失を認識すべきであると判定された資産又は資産グループについては、帳簿価額を (⑤) まで減額し、当該減少額を減損損失として当期の損失とする。

「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」一部抜粋

回収可能価額の算定

正味売却価額

28. 回収可能価額とは、資産又は資産グループの (⑥) と (⑦) のいずれか (⑧) い方の金額をいう (減損会計基準 注解 (注1) 1.参照)。通常、……

● 正誤問題

- (A) 減損会計を適用した結果として、ある資産又は資産グループに関して減損損失を計上した後で、適用対象となった資産又は資産グループの (⑤) が回復した場合、取得原価又は減損損失を計上しなかった場合の償却後原価までであれば、減損損失の戻入れを行う。
(注) 当該文章の (⑤) は、● 語句穴埋め問題の (⑤) と同一の語である。
- (B) 店舗の減損損失は、店舗使用の費用として販売費及び一般管理費の区分に計上される。
- (C) 減損損失を認識するかどうかの判定に際して見積られる将来キャッシュ・フローおよび (⑦) の算定において見積られる将来キャッシュ・フローは、企業の固有の事情を反映した合理的で説明可能な仮定および予測にもとづいて見積る。
(注) 当該文章の (⑦) は、● 語句穴埋め問題の (⑦) と同一の語である。

●事例問題

熱海電機(株)の資産グループである半導体事業と家電事業について、減損の兆候が認められた。よって、「固定資産の減損に係る会計基準」の「2.減損損失の認識」に則って減損損失を認識するか否かを判断し、認識する場合は、同会計基準「3.減損損失の測定」に則って減損損失の金額を記入しなさい。なお、減損損失を認識しない場合は横棒"—"を記入すること。

	半導体事業	家電事業
取得原価総額	12,345,678,901円	105,450,089,357円
減価償却累計額総額	4,567,890,123円	78,901,234,567円
上記、「●語句穴埋め問題」の①の総額	7,654,000,000円	35,000,400,000円
上記、「●語句穴埋め問題」の⑥の額	7,149,477,053円	36,712,225,493円
上記、「●語句穴埋め問題」の⑦の額	6,789,012,345円	34,500,102,997円

解1)

●語句穴埋め問題

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

●正誤問題

	O/x	xの場合、その理由
(A)		
(B)		
(C)		

●事例問題

	減損損失	
半導体事業		円
家電事業		円

氏名

点数 点/100点

各論演習 19-2

問1)

当期末に保有する以下のA備品、B備品及び共用資産について減損の兆候が認められた。よって、A備品、B備品及び共用資産のそれぞれについて、減損損失を認識するか否かを判断し、減損損失を認識する場合には、その仕訳を答えなさい。なお、共用資産を含めて減損損失を認識する場合には、共用資産を加えることによって算定された減損損失の増加額を共用資産に対する減損損失とする。

	A備品	B備品	共用資産
取得原価	600,000円	800,000円	500,000円
減価償却累計額	270,000円	360,000円	180,000円
割引前将来キャッシュ・フロー	300,000円	400,000円	-
正味売却価額	260,000円	430,000円	290,000円
将来キャッシュ・フローの現在価値	240,000円	390,000円	-

(注) 共用資産を含む割引前将来キャッシュ・フローの合計は810,000円
共用資産を含む将来キャッシュ・フローの現在価値の合計は680,000円

解1)

単位：円

借方		貸方	